

議会だより

2016

No. 110

くらて

12月定例会号



お正月用コケ玉づくり

みなさん、がんばりました。

おもな内容

P2 ・平成27年度 一般会計補正予算

P4 ・意見書、請願、新しい人事、行政報告

P5 ・**知**りたいこと**望**むこと～7人が一般質問～

P13 ・臨時会「学校まるごとアニメ事業」を創設

平成 27 年度

12月 定例会

一般会計補正予算

● 1 億 7,325 万円を追加

12月定例会のあらまし

12月定例会は、12月2日から15日までの14日間の会期で開催され、町長から提案された平成27年度一般会計等補正予算2件、条例の改正3件、人

事案件1件を可決同意し、議員提案の意見書1件が否決、請願1件が不採択となりました。

本補正予算は、歳出では、地方独立行政法人くらて病院の運営費負担金後期分や障がい者自立支援事業の利用者等の増加に伴う扶助費などの追加を行う一方で、無投票となった町議会議員選挙費や農業委員会委員選挙費などの減額が行われています。

歳入では、歳出側の事業費の補正に伴い国庫支出金及び県支出金などの追加または減額を行うとともに、今回の補正で不足する財源を、財政調整基金から繰り入れることにより予算が調製されています。

この結果、1億7325万円を追加し、予算総額は72億8117万2千円となっています。

▼全員賛成で可決

地域バス路線等 運行維持費を追加

主な質疑

問 地域バス路線等運行維持費追加の理由は。

地域振興課長 すまいもやいタクシー、路線バスとして、直方・鞍手・遠賀線、直方・鞍手・宗像線の運行収入の増減が追加補正の主な理由です。

すまいるバスについては、中学生の通学利用者が予想を下回って運行収入減となりました。

路線バスも、利用者減によって収入が大きく落ち込んだことや、鞍手中学校を通るルートにしたため、鞍手町への距離が増え負担増となったことが主な理由です。

問 教育費で生徒バス通学費の中学生利用者が少なくなったと

ことだがその理由は。

教育課長 当初見込みでは、夏休みを含め予算計上して

いたが、結果的に夏休み等の利用が極端に少なく、7月下旬8月の利用者が減ったと考えられます。

問 地域バス路線等運行維持費の年間費用は。

地域振興課長 すまいもやいタクシーが8



路線バスが1
334
万5千
円程度
で合計6
920万
8千円程度
になります。

※質疑の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。
会議録は、鞍手町ホームページや議会事務局で閲覧できます。
尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承ください。

くらて病院 新築移転計画を進める



▶老朽化が進むくらて病院

主な質疑

問

くらて病院の中期目標で病院の役割、経営、移転候補地選定が上がっていたが、病院経営、人口増減の見込みから移転、建て替えはむずかしいのではないかと、現在の位置での耐震化を議論するべきでは。

政策推進課長

くらて病院が町立病院から地方独立行政法人に平成25年4月1日に移行しています。

その時に鞍手町が地方独立行政法人に対し、業務運営に関する中期目標というものを定めていますが、目標の中には、現在の病院の位置では建て替えが不可能、今後町と病院で密接に連携を取りながら新築移転計画を検討して行くということが既にそこで目標として定められています。

その他の議案

▼全員賛成で可決

○附属機関設置条例の一部を改正する条例

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

○税条例等の一部を改正する条例

○平成27年度地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計補正予算

意見書

安全保障法制の廃止等を求める意見書

議員発議による意見書1件が賛成少数で否決されました。

●提出者 宇田川 亮

賛成討論

今法制が立憲主義破壊の違憲立法であることが明白であり、参院可決後の各種世論調査でも国民の6割前後が今回の採決に反対の意思を示しています。本法制については、国会審議が重ねられるほど、国民の反対や疑問の声が拡大しました。学生、研究者、子を持つ母親等、各界、各層で総意あふれる抗議行動や意見表明が各国、各地で行われるに至っています。

よって、私は安全保障法制の廃止等を求める意見書の提出について賛成をいたします。

宇田川 亮

請願

TPP（環太平洋経済連携協定）交渉に関する意見書の提出を求める請願

請願による意見書1件が賛成少数で不採択となりました。

●請願者

宮若市福丸342-15

若宮農民組合

組合長

因 泰光

●紹介議員

宇田川 亮

●紹介議員

鯨坂 省治

賛成討論

安倍内閣が発表した大筋合意では関税分野について、10月5日内閣官房TPP政府対策本部、TPP協定の概要で、重要5品目（小麦、牛肉、豚肉、乳製品、甘味資源作物）の交渉結果を明らかにしたのについて、工業製品、農林水産物分野を含めて次々と追加発表を行い、ほぼ全容があきらかにされています。

その内容は、国会決議で聖域とした重要5品目での関税撤廃が含まれており、決議違反であることは正に明らかです。

地域経済、雇用、農業、医療、保険、食品安全、知的財産権など、国民の生活、営業に密接に係わる分野で、日本の国民の利益と経済主権をアメリカや多国籍企業に売り渡すものであり、断じて容認することはできません。

よって、この意見書を提出することに賛成いたします。

宇田川 亮



新しい人事 (教育委員の任命)



ほりずみ やすまさ 堀角 泰正 氏 (45歳)

任期 平成27年12月15日から平成31年12月14日まで

教育委員 堀角泰正氏の任期が平成27年12月14日をもって満了することから、同氏を再度任命することにについて、全員賛成で同意しました。

行政報告

●平成35年度以降の可燃ごみの処理のあり方及びごみの直接搬入の受け入れについて

平成14年度よりスタートしたごみ固形燃料化(RDF方式)は、平成34年度までの延長が決定しています。

じん芥組合として、平成35年度以降の可燃物の処理方針を決定し、具体的な検討が必要なことか

ら、

①ごみ燃料化(RDF)の継続

②ごみ処理の外部委託

③ごみ処理施設の施設の新設

④ごみ処理施設の外部委託若しくはごみ処理施設の施設の新設等

その結果、平成35年度以降の可燃物の処理方針を、外部処理委託若しくは処理施設の施設の新設を直ちに選択した場合には、発電事業の終了に合わせる平成35年度からの稼働開始を目指して、早急に施設の建設場所、規模、処理区域及び財政計画を速やかに具体化していく必要がありま

その反面、既存のRDF処理施設の有効活用及び長寿命化を図るなど組合町の財政的負担の軽減などの取り組みも必要だと考えます。

平成35年度以降の処理方針は、既存のRDF処理施設を継続させることを優先し、並行してごみ処理の外部委託若しくはごみ処理施設の施設の新設等を検討していくと町長より行政報告がありました。

知りたいことと望むこと

7人が
一般質問

1. 岡崎 邦博 議員 6
・町の財政状況と公共施設等の老朽化の現状及び将来の見通しについて
・くらて病院の現状と将来の展望について
2. 田中 二三輝 議員 7
・「ハザードマップ」の再点検について
・鞍手の再認識について
3. 竹内 利一 議員 8
・2040年問題について
・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について
4. 熊井 照明 議員 9
・「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたこと
による本町の空き家等対策について
・大谷自然公園について
・ふるもんがわおおからと
古門川大唐戸の改修について
5. 鯨坂 省治 議員 10
・特別養護老人ホーム入所待機者について
・危険性のある空き家の対応について
6. 宇田川 亮 議員 11
・ゴミ処理のあり方について
・マイナンバー制度について
7. 須山 由紀生 議員 12
・JR鞍手駅前開発について
・浮洲公園整備計画について

一般質問とは、町長から提出された議案以外に、行政に対する疑問点について質問することです。

一般質問の内容、答弁は質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

質問の全文は、鞍手町ホームページや議会事務局で会議録を閲覧できます。

※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。

問

町の財政状況と公共施設等の老朽化の現状は？

政策推進課長 「公営企業を含めた地方債残高は、約145億円1,730万円です」

総務課長 「公共施設は21・3%が、耐用年数を過ぎています」



岡崎 邦博 議員

問 公営企業も含めた地方債残高と返済計画は。

政策推進課長

平成27年度末で

の一般会計の地方債残高は、85億1800万円、水道事業、公共下水道、くららて病院等の公営企業を含めた地方債残高は、平成27年度末で145億1730万円となり、償還額は平成28・29年度が約12億円、平成30・31年度が約14億円、平成32年度から36年度までは、約13億円を見込み、平成36年度末での残高は、約99億円です。

問 平成28年度の地方交付税は10月の国勢調査が交付税算定の基礎となるが、人口減少が交付税にどれくらい影響するのか。

政策推進課長

交通 普

付税算定の人口要件だけを単純に置き換えて試算すると、27年度の額と比較して約9677万円の減額となり、その他の変動要因を加味しても影響があると思います。

問 町が所有する公共施設の老朽化が目立つが、状況は。

総務課長

概算で建築物全体の21・3%が耐用年数を過ぎています。



▶老朽化が目立つ衛生センター

2040年までの人口推計と入院、外来患者の推計は。

政策推進課長

0年での2040

町の人口推計は、1万293人、入院患者数は、7万80人、外来患者数は7万6734人と推計しています。

問

公共施設も老朽化しており、維持管理、更新が必要になってきます。限られた財源の中で、くららて病院だけを特化して考えるのではなく、町が所有する公共施設全体の一つとして取り組むべきでは。

町長

病院の耐震化は早急な課題です。また回復期、慢性期の患者さんの病床数の不足を踏まえて計画を行っていききたい。公共施設は、第5次総合計画に盛り込んでいきたい。

くららて病院の将来の展望について

問 町長は9月定例会でくららて病院の

建て替えを過疎債のある平成32年度末までに行いたいと答弁されていたが建て替えを検討する際の基本的な推計として、

盛り込んでいきたい。



田中 二三輝 議員

問 より良いハザードマップ作成に取り組むべきでは？

町長 「担当部署と協議しながら作っていきます」

問 福岡県土砂災害警戒区域等マップを詳細に見た時、居住地区や新幹線の沿線、高速道路の一部が確認される。

町長 関係機関と連携した避難訓練は、大切なものだと考えています。

町長 遠賀川の堤防の点検は、そこで遠賀川堤防の点検が必要です。

そこで、消防、警察、自衛隊、更には高速道路や新幹線も含めた、町全体や各小学校区等の広範囲に亘る避難訓練が必要と考えるが。

問 茨城県鬼怒川の堤防決壊のメカニズムを報道で受け、遠賀川の堤防を確認したが、気になる亀裂を確認した。

町長 国土交通省の遠賀川河川事務所が行っています。亀裂に関しては、我々地元民が県、国を通じ申し出なければならぬと考えています。

問 ハザードマップを見直しているの事だが、見やすく、細かく、本町独自の視点で親切丁寧なハザードマップを作成し、他の自治体が参考にしたくなるようなハザードマップの作成に取り組むべきでは。

町長 担当と協議をしながら、また議員のお知恵も頂戴しながら作っていきたいと思います。

注 ハザードマップとは
自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。

問 鞍手の再認識について

問 郷土と自分との関わりを理解し、

郷土を愛する心の重要性についてどう思うか。

町長 郷土愛は必要なことだと思っています。

教育長 学校教育では、伝統と文化を尊重し、郷土愛を育てるため地域の人物、事との関わりを重要視しているところです。

問 ブログ等で鞍手の歴史的価値が多く紹介されている。神社や古墳の重要性を理解し

手つかずの状態の古墳を守ることは、乱開発の抑制にも繋がる。長い眠りに対しての敬意、各神社に祀られている神々、または本町を長い間見守っておられる仏様への崇敬の念に繋がりが、結果として郷土愛を育んで地域愛、更には国への愛着に繋っていく。

近隣では、地元の歴史、伝承に取り組んで町おこしに繋げて行こうという動きがあるが、鞍手の歴史的価値は、観光資源として眠っている鞍手の魅力の一つであると強くアピールすべきでは。

町長 取り組んでいきたいと思っています。

長谷観音、不動院、いろいろなところをご覧いただければ、それが一つの観光産業になっていくと考えています。



▶国指定重要文化財
「長谷寺の木造十一面観音立像」

問 2040年の 鞍手町の人口目標数は？

政策推進
課長

「2040年には、
1万2,094人まで確保したい」



竹内 利一 議員

問

子ども達の未来
や、人口を減らさな

と・しごと創生総合戦略
を作成し、現在37の様々
な事業を計画しています。
町の人口の目標値を2
025年には1万447
0人、2040年には1
万2094人まで確保し
たいと考えています。

政策推進課長

鞍手町
まち・ひ

問

現在鞍手町が描
いているコンパクト
シティ、鞍手インター
の活用、くらて学園等
の施策による2040年
の鞍手町の人口目標
数は。

町長

当然のこと
ながら働く場
所も必要です。新幹
線駅、駅から誘致し、
2040年、人口目標
を3万人と考

私と同感です。
駅ができれば本
当にいいと思っ
ています。

問

コンパクトシ
ティのメリットと
デメリットは。

地域振興課長

コンパ
クトシ

イ構想を推進す
るメリットは、
一、住宅や施設を
一定の地域に集め
ることによつて効
率的な行政サービ
スが提供できま

二、まちなかの利
用されずに放置さ
れている土地の有
効活用、乱開発の
抑制により郊外の
緑地や農地の保
全につながりま
す。

(注1) コンパクトシ
ティとは
少子高齢化や地方
自治体の厳しい財
政状況を踏まえ、
郊外に広がる都
市機能を町の中
心に集約するも
ので、現在、国主
導で全国的に広
げられています。



▶まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員
山本 華世 氏

まち・ひと・しごと創
生総合戦略推進委員会

問

山本華世さん
が委員長のまち・ひ
と・しごと創生総合
戦略推進委員会の
進捗状況と広報活
動は。

「まち・ひと・しごと」
と3つの部会に分か
れて

政策推進課長

推進委
員会を

考えています。

いただき、職員と
ともに総合戦略の
素案の課題とアイ
デアについて協議
を行っていただき、
各2回ずつ、延べ6
回また職員が素案
作りに延べ51回
の会議を行い進行
中です。町とい
たしまして今後シ
ティプロモーション
、シティセールス
と言いますが、町
をPRしていか
なければなら
ないと考えて
います。

問 本町の空き家等対策は？

町長 「法律に準拠し、適正管理に努めます」



熊井 照明 議員

問 空き家等対策の推進に関する特別な措置法が施行され、基本的な指針も公表されました。町長の考え方は。

町長 法律に従って空き家の適正管理に努めます。

問 平成24、25年度に老朽化した空き家等

町長 平成24、25年度に老朽化した空き家等

問 空き家等対策の相談件数21件中解決した件数と、その後の相談件数は。

総務課長 21件中1件が解決し、26年度以降の相談件数は、16件です。

問 相談件数の内、所有者不明の件数と、その対応方法は。

町長 相談件数の内、所有者不明の件数と、その対応方法は。

問 空き家等の内、特定空き家等と判断される基準と件数は。

総務課長 判断基準は定めていません。県内の全自治体による空家対策連絡協議会が設置され、統一的な判断基準が作成されます。

問 空き家等の内、特定空き家等と判断される基準と件数は。

町長 空き家等の内、特定空き家等と判断される基準と件数は。

問 本町独自の空き家等協議会の設置と対策計画を作成する考えは。

町長 平成28年度で対応するよう考えています。

問 古門区から要望が出ている空き家の今後の対応は。

町長 現地調査をもう一度行い、しかるべく早急な対応をします。

おおたにしぜんこうえん 大谷自然公園について

問 キャンプ場再開予定は。

町長 再開には多額の工費を要するため、工法等や施設改修、使用料改定も含め検討しています。

なるべく早く再開したいと考えています。

問 活用方法を広く公募等行う考えは。

町長 費用対効果等を考え、今後の運営においても民間活力を導入し、知恵を借り取り組んでいかなければと考えています。

ふるもんがわおからと 古門川大唐戸の改修について

問 水門の改修について要望書が出ていますが、いつ改修されるのか。

町長 要望により、部分的に改良を行っています。



閉鎖中の大谷自然公園キャンプ場

改修には多額の工費が掛かります。現時点では財政上非常に困難です。しかし、開閉に困っているという状況から、安価で改良ができる方法を検討したいと思います。

問

特別養護老人ホームの定員増の対策は？

町長

「施設の増床は必要であり、施設整備を計画している」



鯉坂 省治 議員

問

特別養護老人ホームに入所したい人が定員を超しているため入所できないと聞いている。また入所を最初からあきらめて申込みをされないなど、多数の方が潜在的に入所できない状況の中、鞍手町の特別養護老人ホームの定員数は現在100と聞いているが定員増の対策は。

町長

特別養護老人ホームは町内に1ヶ所ですが、常に満床の状態です。鞍手町の人口と将来推計では、少子高齢化は更に進み、平成29年度には



▶高齢化社会に対応する早急な介護政策が望まれる

高齢者人口は5942人、高齢化率は36.5%と推計予測されています。介護認定者数も1226人、その内要介護3以上は442人に増加すると見込まれています。介護予防を推進し、できるだけ長く在宅生活を送れるように取り組んでいきますが、一人暮らしの方や老老介護の方は重度になれば在宅での生活は非常に困難です。

このような状況下を考えると特別養護老人ホームの増床は必要で施設整備を計画しています。

問

今ある特別養護老人ホームを増設するのか、他に整備するのか。

町長

まだ具体的な話は進んでいませんが、増やす思いはあります。

空き家対策は

問

危険性のある空き家の行政代執行が可能となったが、町の対応は。

町長

福岡県と県内市町村で構成する空家対策連絡協議会の統一案により、本町の計画を作成して検討したいと思います。計画の中で行政代執行についても適切な手続きを踏んで行うことになるかと考えています。

問

現在通学路に面した倒壊の危険性がある空き家は、今月から調査することだが今後、国の指針に沿って空き家対策が進むと考えるが、通学路の安全性を確保するために、学校教育に対して、危険な箇所を報告して、安全な通学路を確保する早急な対策が必要では。

町長

しっかりと取り組んでいきたいと思っています。



▶危険性のある空き家（イメージ）

問 今後のゴミ処理は？

農政環境課長

「RDF処理を延長し、減量化を図ります」

問 RDF処理施設の継続を決定した、具体的な検討内容は。

先の確保は、宇部興産で1トン当たり約1万1千円、北九州市で1トン当たり約2万円でした。

さらに、ゴミ施設を新設した場合、建設に約10年、費用も約33億円を要します。

農政環境課長

また外部処理施設の委託は、北九州市しか選択できません。

以上のことから、RDF処理施設の延長を決定し、平成45年以降の処理は、並行して考えていくことにしました。

RDFの安定的な処理使用が可能です。

この場合、中継基地建設に7年～10年程度の時間がかかり、建設費用、収集業務委託料の増加等で20～30億円必要です。

問 ゴミの減量化の検討は。

農政環境課長

RDFが減量化することにより、処理委託料、運搬委託料等が減額となりますので、リサイクルを進めて、ゴミの減量化を図っていきます。

問 ペットボトルの回収も無料の袋を配布するなど、具体的に

より一層検討していただきたいが。

町長

分別を徹底して、リサイクルできるものは資源にしていけば、ゴミは徐々に減っていきますので、その方向で今後取り組んでいきます。

問

ゴミの直接搬入ができるようになるが、より利用しやすい方法を。

農政環境課長

指定袋に入れな

くても、重量を量り、10キロ当たり証紙1枚を貼り付けることにしています。ただ、指定日と予約制を取りますので、不便なところもあると思いますが、より良い方法で個人搬入を受け入れる検討をしたいと思います。

マイナンバー制度の不安解消を

問

マイナンバー制度について、不安や疑問の声が広がっています。町として説明会の開催や、相談窓口の開設をする考えは。

町長

区単位など、個別の要請には対応していきます。

税務住民課長

これまで250



▶ 宮若市外二町じん芥処理施設組合 (くらじクリーンセンター)

問

J R 鞍手駅前開発の進捗状況は？

町長「開発は念頭に置きながら、鋭意進めていきたい」



須山 由紀生 議員

問 平成24年3月議会で一度質問をしました。

当時の柴田町長は、「駅周辺の開発や活性化が町にとって重要な課題であることは十分認識しています。今後も社会情勢や環境の変化を見極めながら取り組んで行く必要がある」とのような考えを当時述べられています。この駅前開発及び活性化について、今現在、或いは今後何か新しい計画があるのか。

町長

第3次総合計画ができた

時には駅前開発が壮大な

計画がありました。それが頓挫して以来駅前の辺りはあまり進化していないのが現状です。平成27年の3月に北九鞍手夢大橋が開通したことで、JR鞍手駅周辺の開発や活性化は町にとって重要なテーマです。

町長

エレベーター設置については、1日の平均利用者が3千人という高いハ

ドルがあります。鞍手駅は今のところ1日の平均利用者が760人程度です。この辺のところは行政がJR九州とも話を詰めながら、いろいろなやり方があると思うので、知恵を出しながら対応していきたいと思います。

問

鞍手駅舎のバリアフリー化とエレベーターの設置についての町長の考えは。

問

浮洲公園のトイレや街灯の設置などを含めた周辺整備の進捗状況はどうなっているのか。

浮洲公園整備

町長

来年、28年度の当初予算の中に街灯設置の予算を計上する予定にしています。

問

問題のプール跡地整備の進捗状況は。

町長

この件については、事故等があつてはいけないうで、財政状況を見ながら早急に考えていきます。



▶鞍手駅改札口の周辺

臨時会

平成27年第5回臨時会が11月19日に開催されました。

「学校まるごとアニメ事業」を創設

国の地域活性化、地域住民生活等緊急支援対象事業

として採択され、交付金額3750万円が決定

●平成27年度 一般会計補正予算4061万2千円を追加

▼賛成11・反対1で可決

問

地域住民生活等
緊急支援先行型と

いうことで3750万円の予算が計上されているが、具体的にどういふものに対して使うのか。

地域振興課長

学校ま

として積算しています。

るごことアニメ事業(※1)委託料は、学校のPRに係る経費としてホームページ、パンフレットの作成、アニメ動画作成、今後から学園(※2)が起業や雇用を進める中で、収益事業として、くらで学園を仲介したデジタルコンテンツの販売サイトや、高精度3Dプリンタを活用した業務の受注サイト、或いは観光コスプレに必要な施設の予約システム構築、その他イベントの企画や施設の運営に係る人件費、また小道具や学園旗といったものの製作に係る経費を委託料

総務課長

旧鞍手町立
南中学校校舎

内の工事を考えています。内訳は、電気工事、トイレの点検・改修、水道の開栓などです。

また4階建ての1階校舎は、コミュニティカフェといつて、地域住民が集える場所を作りたいと考えています。そのほかに教室の内装工事も考えています。



▶旧鞍手町立南中学校

問

くらで学園が重
要業績評価指標(※

3)の数値目標をどのように設定して、効果をもたらしているのか尋ねる。

政策推進課長

目的は
廃校舎を

アニメ関連イベントの会場として開放することで町外からの集客を図ります。またその分野において起業を目指している人を発掘して、創業支援や雇用の創出と移住の足がかりを図ることで申請しました。

重要業績評価指標(KPI)は、まず平成31年までに、創業数30件と

いう目標を立てています。

現在、観光入り込み客数は、約12万7千人から約13万人弱で、これを最終的な目標年度の平成31年までには、年間20万人まで拡大したいと目標を立てています。

※3 重要業績評価指標(KPI)とは

各組織レベルで最終的な「目標」を定め、その目標を具体的に実現するための「手段」を策定し、その手段がきちんと遂行されているかどうかを定量的に推測する「指標」のこと。

※その他に、鞍手町財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例が可決されました。

※1 学校まるごとアニメ事業とは
閉校となった「旧鞍手南中学校」の校舎を利用して、アニメ関連のイベント、観光を伴うビジネス等の創業支援で地域活性化を図る。
※2 くらで学園とは
学校まるごとアニメ事業を運営する連携企業等



新年のごあいさつ

新年にあたり、町民の皆様方には輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

内外の政治・経済・社会情勢は誠に厳しいものがありますが、本年も町民の皆様方の負託とご期待に添うべく、懸命に努力して参ります。

町議会は、皆さまにとってより豊かで住みよい町づくりをめざして創意工夫を重ねながら、また議会の使命である行政の監視を住民の立場に立って行っていきます。

どうか本年も相変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。
鞍手町議会議長 星 正彦

表紙の紹介 山野草を使ってコケ玉づくり

平成27年12月5日(土)に鞍手町歴史民俗博物館で、お正月用の「コケ玉」作りが行われました。

当日は多数の方が参加され、講師の先生より説明を受け、みなさん、素晴らしい作品ができたのではないのでしょうか。

最後まで一生懸命作業に取り組み、新しい年にふさわしい、思い出に残る作品ができました。

みなさん、大変お疲れ様でした。



議会を傍聴しませんか

(次回は、3月議会です。)

議会はだれでも一般質問・議案質疑を傍聴できます。受付は、当日に議会事務局でおこないます。

また一般質問を傍聴する方の希望に応じ、手話通訳者を派遣しています(無料)。これには事前予約が必要です。

■問い合わせ 議会事務局
☎42局2111番(内線331)

編集後記

12月定例会では、7名の議員が生活に身近な空き家対策や、マイナンバー制度に関する質問をおこない、多くの方に傍聴をしていただきました。

編集委員会では、町民の皆さんに興味を持って読んでいただける、わかりやすい「議会だより」の編集に委員一同、努めて参ります。今年が町民の皆さまにとりまして、すばらしい一年となりますよう祈念いたします。

(鰻坂 省治)

発行責任者

議会議長 星 正彦

編集スタッフ

委員長	須山 由紀生
副委員長	竹内 利一
委員	鰻坂 省治
委員	熊井 照明
委員	須藤 信一郎
委員	須藤 敏夫